

圧着ハガキファクトリー
運営：株式会社マージネット

圧着ハガキファクトリー <https://ac-factory.com> 株式会社マージネット <https://mergenet.co.jp>
【和歌山県西牟婁郡上富田生馬811-1 電話0739-83-3344】

伸びるOne to Oneバリエブル圧着DM 工場見学が出来る圧着ハガキファクトリー

圧着DMの専門サイト『圧着ハガキファクトリー』（運営会社：株式会社マージネット）では、「One to Oneの圧着DMを伸ばしたいという印刷会社の工場見学が増えています。顧客ごとのニーズに対応する可変印刷や顧客ターゲットを分類するセグメンテーションの訴求など差別化を求めるニーズが背景にあります。圧着ハガキファクトリーでは、印刷会社と共にOne to One DM

の市場開拓を進めてます」と池田朗社長は最近の傾向を述べる。

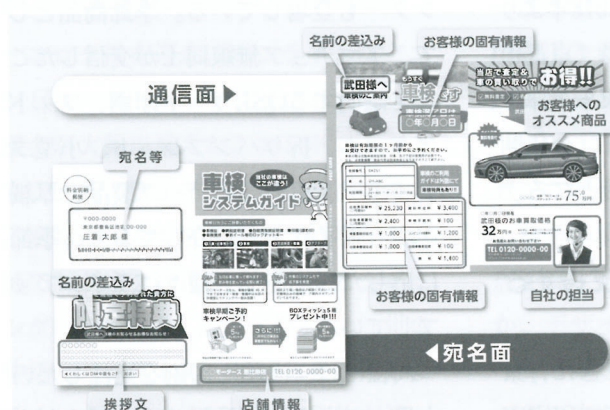
郵便局出しまでサポート

マージネットは1989年にデザイン会社として設立、2002年に『株式会社マージネット』へ社名変更。デザイン力を活かしたスポットニスや擬似エンボスの特殊印刷を得意としてきた。2010年



One to Oneのバリエブル圧着DM

に圧着ハガキの製造を始め、2015年には圧着ハガキを全国展開する専門サイ

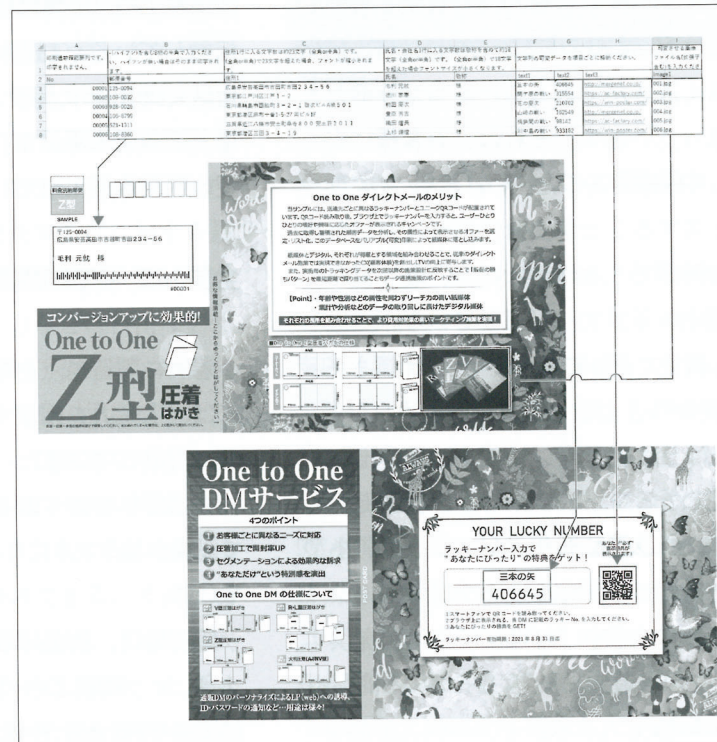


ナンバリングやバーコード・二次元コード印刷、ダイレクトメールとして宛名印字から名前差込み、保有ポイントの告知や圧着くじ等、使用用途は無限大！

様々な顧客情報をバリエブル印刷



デジタルオフセット印刷（最新技術が可能にした印刷の未来）を紹介するマージネットHPの二次元コード



ナンバリングやバーコード、二次元コード印刷、ダイレクトメールとして宛名印字から名前刷り込み、保有ポイントの告知や圧着くじ等、使用用途は無限



マージネット本社工場

ト『圧着ハガキファクトリー』を開設し、全国から圧着ハガキ印刷を受注しており、UVオフセット圧着、ふち糊圧着、発送代行、ポストティング、郵便局出しまで一貫でサポートする。

池田朗社長は「お客様は普通の一DMに飽きている傾向がみられます。そのためOne to Oneのバリエブル圧着DMが増えています。企画デザイン会社や代理店、デザイン会社においてはバリエブルが一般化してきました。二次元コードや獲得ポイントなどテキストの変更をバリエブルで行うケースが増えています」と最近の傾向を語る。

同社のOne to One DMは、デジタル印刷機のHP Indigo 7900が中心になっている。300部～500部前後の小ロットバリエブルDMが多い。「MA（マーケティングオートメーション）やAIの活用が進み“ありがとうレター”などOne



HP Indigo 7900 7色機。特殊インキ（クリア・インビジブル・蛍光・メタリック）で高付加価値印刷



マージネット・デジタル印刷部門の社員の皆さん

to Oneで特別感を演出することが好まれています。宛名、テキスト、バリエブルを両面ワンパスで印刷出来ることが圧着ハガキファクトリーの特長です。両面バリエブル印刷は費用対効果を求めるお客様のリピートが高く、One to One DMで差別化されています」と述べる。

また最近の傾向としては、「One to One DMの製造現場を見たい」という

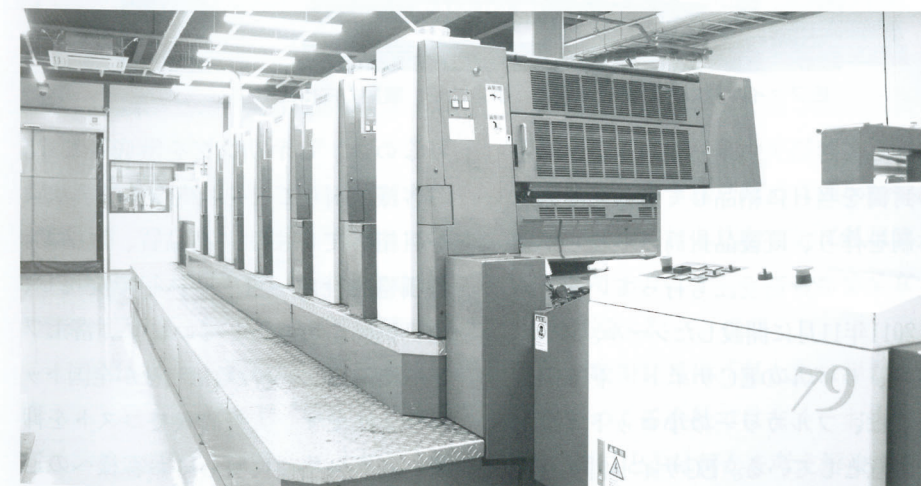


マージネット本社工場の製本・加工部門

印刷会社の工場見学が多くなっているという。「今までと違ったことをしてみたい。そのひとつとして圧着DMを新たに始めたいという印刷会社から問い合わせが多くなっています。印刷会社はバリエブルを知っているので製造工程を確認して安心されます」と工場見学の効果を述べる。

DM発注は宛名印字、郵便局の投函まで依頼するケースが多い。同社は郵便料金まで立替しており、2021年度は郵便立て替え金額が1億円を超え、ワンストップサービスに対する同社への信頼度が高い証となっている。

池田朗社長は「圧着ハガキの製造を初めて12年、専門サイトの圧着ハガキファクトリーを開設して8年、そしてOne to One DMを始めて3年になります。お客様のニーズは変わっています。バリエブル印刷の効果が高いという認識が深まっています」と手応えを述べている。



UVオフセット7色機